

授業概要

本授業におけるアメリカとは、アメリカ合衆国のことを指します。従って、本授業では、アメリカ合衆国の歴史を重要なテーマごとに概観することを目的とします。前半（第1回～第5回）にアメリカ合衆国を形成した重要概念について講義し、後半（第6回～第13回）はアメリカ合衆国とアジアの関係を軸足に抗議します。

授業計画

第1回	オリエンテーションー歴史学と人文学的ものの見方
第2回	アメリカ史とピューリタニズム
第3回	アメリカ合衆国と政教分離
第4回	アメリカ史とフロンティア
第5回	奴隷制と「南北戦争」
第6回	アメリカ合衆国とアジア系移民
第7回	映像資料①
第8回	原爆投下をめぐる諸問題
第9回	占領政策と日米関係
第10回	日朝米関係と朝鮮戦争① 朝鮮半島分断の起源
第11回	日朝米関係と朝鮮戦争② 朝鮮半島核危機と日本
第12回	日韓米関係とベトナム戦争
第13回	日米安保体制と沖縄
第14回	映像資料②
第15回	まとめ
第16回	期末テスト

到達目標

本授業の最大の目的は、アメリカ合衆国の歴史に関する、基本事項と基本概念を学ぶことを通じて、歴史を見る複眼的な思考法を学ぶことを目指します。よって、細かい固有名詞や年号などを覚えることは第一義的な目的ではなく、アメリカ史を学ぶことを通じて、歴史学の意義や人文学的ものの見方を養うことを主眼とします。また、朝鮮半島を巡る核問題が、日本を取り巻く喫緊の問題となっている関係上、アメリカ合衆国と不可分のこの問題についても一定の時間を割いて考察を加えます。

履修上の注意

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。
授業：日本語で行います。適宜映像資料も取り入れます。また、テーマによっては、少人数グループによるディスカッションや発表等も行います。

予習復習

予習：新聞等で日米に関係する項目に目を通す習慣をつけると、理解の助けになります。
復習：ノートテイキングを怠らず、授業後に情報のまとめなどをすると、知識の整理になります。

評価方法

以下の方法で評価します。
①毎週行う復習小テスト。各回10点満点として、これを10回行い、合計100点とします。
②学期末筆記試験（満点100点）。復習小テストの中から出題します。
①の復習小テストと②の学期末筆記試験の総合で評価します。
大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

テキスト

テキストはありません。参考文献として次のものを挙げておきます。猿谷要『物語アメリカの歴史ー超大国の行方』、ブルース・カミングス『アメリカ西漸史ー“明白なる運命”とその未来』（東洋書林）、ブルース・カミングス『朝鮮戦争論 - 忘れられたジェノサイド』（明石書店）。